エピソード　『入ってみたい』　3歳児　10月伏見こども園

おうちごっこに使おうと普段から使っているレジャーシートを数人が広げました。端をもって広げた時に、A ちゃんがふと手を動かしました。レジャーシートがフワフワと揺れたとたんに、端をもっていた友達も手を動かし出しました。「うわー！」「キャー」とレジャーシートが揺れて動くことを楽しみ始めました。近くにいた友達も加わり、レジャーシートを持つ手をみんなで上に伸ばしたり、みんなで座ったりして遊んでいます。B くんが「バルーンみたい（5 歳児がしている）」と言いました。次の日は保育室にある大きな布をみんなで持って遊び始めました。みんなで上に手を伸ばした後、布の下に入り友達同士で顔を見合わせながら「キャー」と言い、上を見上げたり布の中の様子を楽しんだりしました。その日の遊びの後、B くんが「今度はバルーンの中にも入ってみたいね」C ちゃん「中は何色かな」と話しました。

子どもの育ちや学び



5 歳児のしているバルーンと重なり、自然と手が動いた。
（真似る・楽しい）

友達と一緒に手や体を動かし楽しむ。
（やってみよう・友達と一緒にすることが楽しい）



5 歳児のしていることを見て、バルーンが膨らんだり、バルーンの中に入ったりすることを知っていた。
（やってみたい・憧れ・興味）

保育者の思い

・外で 5 歳児がしているバルーンと、レジャーシートが重なり手が自然と動いたのかなと思いました。レジャーシートの色とバルーンの色が似ているのも、遊び出したきっかけだったのかもしれないなと思いました。
・自然とそばにいる友達と気持ちを合わせ同じように手を動かしたり、声を上げて遊んだりする姿がかわいらしく様子を見守りました。
・日頃 5 歳児がしているバルーンを見ていたことで、レジャーシートや布が動く様子がバルーンと重なったんだなと思いました。5 歳児がしているもっと大きなバルーンに憧れ、中に入ってみたいという気持ちを大切にしたいと思いました。

お家の方へ

日頃の遊びの中で、大きなバルーンすごいな！やってみたいな！と感じていたようですね。5 歳児のしているバルーンに憧れている気持ちを大切にしようと思います。